



ホームページ



職場選び3つのポイント!

職場の人間関係を良くするために

ITを駆使して 定期的なミーティング活動

訪問の仕事でスタッフ同士直接会って話す時間が限られるためコミュニケーションを大切にしています。チャットツールでの情報共有化、定期的なミーティングなどで、不安や悩みにお仕事の話以外でもかかわりが持てる楽しい職場です。



スタッフの声

Staff Voice!

看護、介護、リハビリのスタッフが近くにいるおかげでいつでも相談しあえる、安心できる環境が整った会社です。事務所は“心の休憩”をするために「帰ってきたくなる場所」でアットホームな雰囲気にあふれています。

法人・施設紹介

利用者の心身の状況や家庭環境等を踏まえ、関係する市町村や事業者、地域の保健・医療・福祉サービス等と綿密な連携を図りながら、利用者の要介護状態の軽減や悪化の防止、もしくは要介護状態となることの予防のため、適切なサービスの提供に努めています。



新人職員へのサポート

初心者の気持ちがある職員しかいません

入社してから仕事に慣れるまではマンツーマンで同行し、しっかりとサポートします。初心者からスタートしているスタッフがほとんどですので、気持ちの理解もあり、フォローアップ体制はバッチリです。

中堅・ベテランスタッフへのサポート

職種間交流も豊富。助け合いの精神です

1番のポイントとしては、各業種のスタッフがお互いにフォローをしながら足りない知識を補っていただけることです。また、一部Eラーニングの実施も取り入れていたりその他研修や講習会も積極的に参加しています。

資格取得支援

スキルアップしたい職員を積極応援!

訪問介護は、喀痰吸引や実務者研修のサポートを積極的に行います。自己研鑽のための書籍購入補助制度もあります。さらなるステップアップを目指し、介護福祉士の資格取得もサポートしていきたいと思っています。

結婚・出産・妊娠・育児のサポート

正社員のまま希望休をかなえてくれる

アットホームな職場なので、全員で一人をサポートできるように常日頃から情報共有をしています。「平日に休みがとりやすく、3人子供がいても、正社員のまま希望の休日をすべてかなえてもらえる職場です。」(スタッフさんの声)

給与面で工夫している点

オンコール対応は1回3,000円

訪問看護のオンコール手当がとっても手厚いです。(何もなくとも1回3,000円・月に7回程度)+対応が必要な場合は別途手当の支給あります。小さい会社ですが、スタッフ一人ひとりの家庭状況に合わせてできる限りのことは致します。

休日面で工夫している点

非担当制で、想定外でも問題なし

担当制をとっておらず、シフトの急な変更にも臨機応変に対応できます。イレギュラーな予定変更や想定外の場においても、相談のしやすい雰囲気づくり、体制がきちんと整っていることは大事なことです。

株式会社 ケアライフ新潟

最新の求人情報



- 募集職種** ▶ ①訪問看護(パート) ②訪問介護(パート)
- 給与** ▶ ①時給1,450円~1,800円 ※毎月31,600円まで(駐車場無料) ②1,100~1,600円
- 仕事内容** ▶ ①病院やかかりつけ医、関係機関と連携しながら、利用者様のお宅を訪問し、看護業務を行う。主な業務としては、バイタル測定、清潔ケア、服薬管理、生活の助言や指導、排便コントロール、その他医療行為等 ②利用者宅(介護・障がい)を訪問し、利用者様が居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、外出時における移動中の介護並びに生活等に関する相談、助言その他生活全般にわたる援助を行う。
- 資格** ▶ ①正看護師または保健師(経験不問)
②介護職員初任者研修以上 普通自動車運転免許(AT限定可)
- 勤務時間** ▶ ①8:30~17:30の間の1時間以上 ②7:00~21:00の間の1時間以上週1~5日程度
- 休日** ▶ ①②休日 シフト制
- 待遇・福利厚生** ▶ ①※条件が要件を満たす場合、雇用保険他加入。

問い合わせ
※電話の際に「コマチの介護フリーマガジンを見た」とお知らせください。
求人問い合わせ電話番号 (担当: 桑)
025-201-7961

株式会社ケアライフ新潟
新潟市西区小針6丁目6番6号 福舞ビル102
<https://h-kango.wixsite.com/carelife-niigata>



課題・目標



介護業界とICT

取材して思ったのが社長自身ICTに明るく、コロナ騒ぎの前からWEBツールをいち早く活用している点でした。これは大規模事業所ではなかなかできにくいことだがケアライフ新潟ではすでに定着していました。ICT技術も進化しており、操作も簡単で50代60代の方も難なくツールを使いこなしていました。今後はリアルとWEBツールを上手にバランスとって職員間の意思疎通と資質向上を図っていくのが課題となるでしょう。これはケアライフ新潟だけでなく介護業界のすべての課題になると思います。

株式会社ケアライフ新潟

ケアライフ訪問看護リハビリステーション
訪問介護ステーションケアライフ

介護ブローガーのCHECK!

介護ブローガー



身寄りなし問題研究会
須貝 秀昭さん

取材して最初に気付いたのが、スタッフが社長に「さん付け」で呼んでいたことです。まさにフラットな関係作りができているのがすぐに伝わってきました。「経営状況なんか聞かれたらすぐに答えますよ。極力隠し事のないようにしているんです」と社長さん。開設して4年ほどの事業所ですが「みんなで相談しながら作り上げてきた会社なんです」と訪問看護の管理者が笑顔で言っていたのがとても印象的でした。

1 みんなで相談しながら作り上げてきた会社



かなり早い段階でICTを取り入れている事業所だろうと社長の話を聞いて伝わりました。全員にタブレットが支給されており、タブレット記録により直行直帰が可能になっています。直行直帰の最大のメリットは時間の融通が利くこと。訪問看護のスタッフのほとんどが子育て世代だが、ほとんどのスタッフが定時退社できており働きやすいと口をそろえてお話しされていたのが印象的でした。そこで問題になるのは職員間の意思疎通だがそこはチャットツールで補っている点も素晴らしい。コロナ禍で慌ててタブレットを取り入れる事業も多いがケアライフではすでにICTは定着していました。

2 直行直帰は当たり前



事例検討など改まって研修する機会は少ないですが、実際のケース事態が症例検討になるという小規模事業所でありますが、専門職がそろって、ICTも相まって考える組織になっていると感じました。「介護福祉士、看護師、理学療法士、作業療法士がチームとなっているので、困難ケースもしっかりと対応して乗り越えてきました」と管理者。このようにチームワークがしっかりしていれば、新人の方も安心して働ける環境だろうと思いました。

3 チームで考えることが自然とできている